



『Tulsi』

## 今尾 啓吾 [岐阜県]

題名の「Tulsi」(トゥルシー)は乳海攪拌の神話に登場する聖なる植物です。

ハーブの女王ともよばれラクシュミーの化身とみなされます。  
英語名:ホーリーバジル/和名:カミメボウキ  
種を手に入れたので育ててハーブティにしました。



『錠置場』

## 大柿 了一 [愛知県]

コロナウィルスの生活環境の中芸術の表現者も制約を受け活動の制限がある。

しかし、絵画表現は制作も可能であろうが絵画表現の発表の場は失っている。

絵画表現において影響がどうあるかと思考するのである。



『ミャンマーの農家』

## 長田 昇 [愛知県]

幹と根は、相乗効果の関係に有る。根は、幹が倒れ無い様に四方八方に根を張り水分と栄養を幹に補給する。幹の枝には、葉を付け太陽の光を吸収し大樹に育つ。

大作重視で素描、エスキースを怠ると、根は育たず枝や幹も育たない。そして枯れて行く。大樹を見れば、その根は見ずとも想像に等しい存在感。葉は作品鑑賞や外部情報収集で有り、根っ子は、様々感動の速記描写。根と幹は、天と地の関係も一体感。○素描作品は、20年以上続けたアジア素描旅のミャンマー農家。現地ガイドさんの言葉に、ミャンマーでは、先ずは学び職に就け、駄目なら軍人に、最後は、お坊さんになって国の為にと語りました。現状のミャンマーがとても心配です。



『vigor 2021A』

## 長田 文実香 [愛知県]

今年は、コロナのこともあり1年があっという間に過ぎていった気がします。コロナが始まって環境の変化もありそれに順応していく私たち。変異しては、対処、順応して生きていく世界。マンネリにならず、緊張感をもって制作をしていければと気持ちの中ではいつも思う日々。

春は必ず訪れ、前に進む。

周りの環境も新しい生活スタイルが始まっていく、共に刺激しい頑張りしていきたい。